

【南松尾はつが野学園について】 (南松尾はつが野学園 PTA の方々との意見交換) ● 南松尾小中学校が統廃合され、環境が変わったことにより得たものと失ったものは何か。 ● スクールバスについて、低学年と高学年で帰る時間が違うと思うが、バスの便はどうなっているのか。 【跡地利用について】 ● 横山小は現在指定避難場所となっているが、跡地については今後どのように考えているか。避難所に行く方は、独居の高齢の方が多く、榎尾中学校まで行くのは無理だと思うのでその点は十分に考えていただきたい。 ● 特認生をどれだけ呼べるかが重要であるので、南横山小は、教育資源として活用すること、また地域住民も利用できる施設として整備してもらいたい。 【教育内容について】 ● これまでに色々出ていた教育内容に関する意見は、いつ吸い上げていくのか。 ● 教育内容の検討の中で、いじめ問題の解消に向けた取組みについても盛り込めるか。他府県の学校では、いじめ問題専任の先生を配置しているところもある。新たな試みとして検討してほしい。	○ 環境が変わったことにより失ったものは特にありません。保護者としては、不安はありましたが、子ども達は小中一貫校になったことによって喜んでいて感じています。 これまでは、一学年十数人程度の規模で、社会に出たときの人間関係の形成の面で不安がありましたが、交友範囲が広がり、友達が増えたことが大きいです。通学等に関しては、スクールバスの利用や、自転車通学も認められているので全く問題はありません。 ○ 各学年の終業時間や、クラブの終了時間に合わせてバスが出ています。 ○ 今後の検討課題となりますが、仮に榎尾中学校に小中一貫校を建設することになれば、小中一貫校が避難所になることを想定しています。 ○ 教育施設としての南横山小の活用は、これまでと変わらず約束させていただきます。地域とともにある学校ですので、この地域でしかできない教育環境を特認の児童生徒には提供していきたいと考えます。 ○ 小中一貫校設置の意思決定がなされれば、準備委員会を立ち上げ、その中で具体的に検討します。 ○ すでに各学校において、「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題の解消に取り組んでおりますが、小中一貫校になっても学園としての「いじめ防止基本方針」を定める中で、他府県の先進事例を踏まえ取り組むべきと考えます。
--	---

【建設予定地について】 ● 追加で取得を予定している用地について、仮に取得できなかった場合はどうなるのか。 ● 横山小への一時移転を回避したいとあったが、中学生の一番大事な時期を、静かな環境の中で過ごしてもらいたい。今の人数から考えると特認を合わせても、横山小に移転できるのではないか。 ● なぜ榎尾中学校なのか。周辺の環境を考えれば横山小学校が適しているのではないか。榎尾中学校の前にある交差点は事故が多いところで、交通量も多い。横山小学校であれば、交通量は多くはなく、通学面で安全だと考える。 ● 建設中に在校している生徒は、新校舎を使用することなく、卒業してしまう。こうした状況になるのであれば、特認の保護者の中には榎尾中学校への進学をあきらめて、私立等の他の中学へ入学させようという方もいると思う。建設中の在校生に対して、例えば新しいプールが使用できるとか、卒業式は新しい体育館でできるなど、在校生にとってメリットになるような配慮ができないか。 【通学バスについて】 ● 通学バスは、基本的に路線バスとなるのか。小学生の通学、例えば１年生の利用を考慮しているか。これまでの説明では、スクールバスを運行するとの認識でいたが。また、特認生も含めて通学バスについて検討していくべきだと考えている。	○ 地権者との調整となりますので、用地を取得できなかった場合は、改めて検討が必要となりますが、全力で用地確保に努めます。 ○ 一時移転しないことは決定事項ではありませんが、移転による負担が大きいことが回避を考えている主な理由の一つです。工事中の騒音に配慮し、現地でいながら建替を行っている事例は全国にあります。追加の用地取得をすることにより、できるだけ工事の影響を少なくしようとしているところです。 ○ 市有地の活用を基本として考えたとき、榎尾中学校については、現敷地の中でも建設が可能であること、また、追加の用地取得が可能であれば教育環境が確保しやすいと考えています。その他、建設に至るスピード感や横山、南横山の両地域の方にとっても母校であり愛着のある場所というところも踏まえて判断しているところです。 横山小学校については、敷地の拡充を考えたときに、周辺の高低さが大きく、校舎やグラウンドの確保が困難と判断しています。 ○ 用地取得が可能であれば、完成した施設から順次、使用していくことによって、在校生の負担軽減に努めるなど、様々な工夫が必要であると考えます。 ○ 通学バスについては路線バスを基本に考えています。小学生と中学生の発達段階の違いや、南松尾はつが野学園でのスクールバスの運行状況を踏まえて、通学バスの運行に関しては今後検討する必要があると考えています。特認バスについては、今後も保護者負担を継続しながら運行していきたいと考えています。
--	--

● 南松尾はつが野学園の通学バスはなぜ無料となっているのか。 ● 福瀬町、善正町、南面利町からの路線バス利用となると、槇尾中前停留所に停まらないため、最寄の停留所から歩かなくてはならない。	○ 南松尾小中学校の統合に伴い遠距離となったものであること、また、当該地域に南松尾はつが野学園に至る路線バスがないため、市費負担でスクールバスを運行しています。 ○ 路線の変更等も含めバス事業者との協議を検討します。
---	---